

地域計画書

令和5年度～令和9年度

～ 楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり ～

第17B区

目 次

- I. はじめに
 - (1) 計画策定の趣旨
 - (2) 計画の期間
 - (3) 計画の策定体制

- II. 第17B地区の概要
 - (1) 地域の特性（地理・文化・行事）
 - (2) 年代別人口推移（過去3カ年）
 - (3) 地域の主な課題

- III. 地域の将来像
 - (1) 将来像と地域づくりの基本方針

- IV. 地域の目指す姿
 - (1) 安全安心な地域づくり
 - (2) 健康で魅力のある地域づくり
 - (3) 次世代を育む地域づくり

- V. 地域計画事業について
 - (1) 事業一覧
 - (2) 分野別の地域計画（事業・内容）

- VI. 地域計画推進体制

- VII. 地域計画活動計画

- VIII. 地域計画施設計画

I. はじめに

(1) 計画策定について

柴田町では、平成22年4月に施行された「住民自治によるまちづくり基本条例」を根拠に「協働のまちづくり」を進めています。それは、住民と行政が共にまちをつくり、育て、支え合うまちづくりを目的としています。地域に置き換えると、地域コミュニティを充実させ、地域の出来ることは地域で行い、創造性豊かな地域を作り、心豊かに誰もが安心して暮らすことのできる愛着の持てる地域に作り上げ、次の世代に引き継いでいくための地域計画策定であると考えています。

策定にあたっては、現計画の実施状況を踏まえると共に少子超高齢化に伴う世帯構成の変化や住環境の維持などの地域の課題に対し、地域が持つ財産であるコミュニティの活性化を高める事を主眼とした計画です。計画の実施については、人と人との繋がりである地域コミュニティと言うエンジンを活用しながら、地域づくりの実践指針として位置づけ計画を推進するものであります。

(2) 計画と期間

地域の将来像を「楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり」掲げ、実践活動においては「みんなで 集える 笑顔の地域づくり」を目指す計画であります。

期間は、令和5年度から令和9年度の5カ年計画です。

(3) 策定体制

体制づくりは、「区役員・班長会」で地域計画作成の意義や町の取組みを紹介し、必要性を説明しながら進めました。策定部会は、①安全安心な地域づくり ②健康で魅力ある地域づくり ③次世代を育む地域づくり の3部会を令和4年8月に設置、策定部会メンバーは、区役員と区班長からなる24名体制。地域課題を把握するため各種活動団体からのヒヤリング実施や策定委員メンバーによる地域フィールドワークを行い、地域の特徴や良い所等の確認、地域が直面している課題、地域の地形や交通環境などを整理、再認識する活動を併せて行いました。

また、地域計画は、実践計画として位置付けていることから、実践に伴う事業成果や事業費精査等機関として地域計画実践検証委員会を設置、事業の継続的活動の展開を図るものであります。

II. 第17B地区の概要

(1) 地域の特徴

地理： 当地区は、従来の集落名は、「三ヶ屋敷」の呼称で古くから親しまれていた。その由来は、太古の槻木湾が形成されていたことに起因、その入江に沿った居住空間に点在した屋敷「館前」「余目」「遠島」地区の総称である。周辺は田園地帯が広がり小高い丘で囲まれた地域であります。これら恵まれた立地条件を背景として、柴田町が住宅団地造成を昭和53年着工以降、順次分譲が進み、令和4年3月末現在の世帯数614世帯、人口1,451人、旧来地区と新興住宅地区が融合した特有の地域でもあります。交通状況は、JR東北本線槻木駅まで徒歩で15分、県道52号線（亘理・村田線）の主要幹線道路が走っており交通利便性が高く、マルトモ(株)仙台工場、薬王堂、イトーチェン(株)、コンビニエンスストアの立地などから通過交通量も年々増加傾向にある地域です。

文化： 当地区は、行政区域全体を32班に分け適切な情報伝達を行い、区会は規則に基づき運営。地域での活動は、区会・各種団体・子供育成会・自主防災会で構成。区組織である文化部、防災部、環境部、体育部を中心に「楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり」を掲げ、実践活動においては、コミュニティを核とした「みんなで集える笑顔の地域づくり」をモットーにあらゆる年代層の参加・参画を目標に、人と人の繋がりを大切に思いやりの心を育み地域が行動できることを目指して活動しています。

行事： 主な地域の行事としては、7月は自主防災訓練実施、9月・11月には「い〜とこめぐり」散策事業、8月は区内道路一斉清掃作業、9月は敬老祝賀会の開催、10月は区民スポーツ・レクリエーション大会併せて区民芋煮会の開催、1月には親子凧揚げ大会など、年間を通じて多種多様な行事を区民同士の親睦・融和を図ります。

(2) 第17B行政区の年代別人口の推移

	当地区 の人口	少年人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
令和2年3月	1,504人	133人 (8.6%)	786人 (52.3%)	585人 (38.9%)
令和3年3月	1,468人	124人 (8.4%)	742人 (50.5%)	602人 (41.0%)
令和4年3月	1,451人	123人 (8.5%)	730人 (50.3%)	598人 (41.2%)

(柴田町提供資料 行政区毎年齢ごと集計表)

(3) 地域の主な課題

- 近年の気候状況は、当地区においても変化をもたらしている。特に、予想を超える降雨量は区内道路網の分断を招き通行不能箇所が多く、陸の孤島に陥る危険性がある。県道52号線へ接続する道路整備対策と区内道路網の整備を講じる必要があります。
- 当地区の人口推移を見ると全体人口数は、高齢者人口増加が続いている。特に松ヶ越住宅地は、住宅団地経過年数と共に高齢者人口増加が比例している。このようなことから地域内のコミュニティが果たす役割が高まっている。このような事から隣同士のコミュニケーションが図れる地域を目指し、地区民一体となった活動を展開することが必要です。
- 自主防災活動は、柴田町の防災ハザードマップ全戸配布のもと防災行動計画(タイムライン)作成整理の励行を促し有事の際の「逃げ遅れ」の解消に努める。また、区で作成した「第17B区防災マップ」に示した一次避難場所への避難も併せて周知徹底を図る。これまで実施してきた地区あげでの自主防災訓練の質を高め多くの参加者もとに取組む。「備えあれば憂いなし」を合言葉に地域一体の活動を積極的に展開する。

Ⅲ. 17B区 地域の将来像

■地域が目指す姿を共有すると共に、地域づくり活動の合言葉を掲げます。

楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり

－みんなで 集える 笑顔の地域－

(1) 地域づくりの基本方針

第17B行政区は、旧来からの住宅地と新興住宅地が融合した地域であり、世帯数614世帯、人口1,451人、行政区面積1.72㎢を有する自然豊かな地域です。

昔ながらの美しい田園風景の継承や人と人とのコミュニケーションを大切に、地域コミュニティの力を高め、誰もが住みやすい地域を目指し、みんなで協力し合い「楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり」の実現に向け「みんなで 集える 笑顔の地域」づくりを実践するものであります。

Ⅳ. 地域の目指す姿

(1) 安全安心な地域づくり

地域みんなで協力して防犯抑止活動や交通施設などの点検を行い地域の安全確保に努めと共に、何時何処で発生してもおかしくない地震や風水害の被害を最小限に止めるために、地域住民が協力・声を掛け合い・助け合いの精神のもと安全安心な地域づくりをします。

(2) 健康で魅力のある地域づくり

少子超高齢化を受け止めながらも誰でも気軽に立ち寄れるお茶のみ場や生涯現役を合言葉に世代を超えた交流を推進し、誰でも健康で魅力のあるコミュニケーション環境が図れる地域づくりをします。

(3) 次世代を育む地域づくり

あいさつ運動の推進を図ると共に地域住民への情報提供紙の発行を始め町の出前講座の有効活用や区内企業との連携を推進し、次世代を育む地域づくりをします。

V. 地域計画事業について
 (1)事業一覧

第17B行政区 地域計画

- ◆ 期 間 : 令和5年から令和9年までの5カ年
- ◆ 活動方針 : 「みんなで 集える 笑顔の地域」

基本方針	将来像	地域の課題	事業名
	楽しく・仲良く・明るく・ふるさとづくり	I	
		安全安心な地域づくり事業	① 自主防災訓練事業 ② 交通・防犯対策事業 ③ 地区消防団活動支援事業 ④ 防犯灯新設設置事業 ⑤ 洪水等対策事業
		II	
		健康で魅力のある地域づくり事業	① 生き生きネットワーク事業 ② 伝言板設置・区会報周知事業 ③ 集会所利用促進事業 ④ い〜とこめぐり散策事業 ⑤ ふれあいサロン拠点事業 ⑥ 料理教室開催事業 ⑦ 敬老会事業 ⑧ 宝寿会活動助成事業 ⑨ スポーツ・レクリエーション大会 ⑩ ふるさと夏祭り参加事業 ⑪ 凧作り・凧揚げ助成事業
		III	
		次世代を育む地域づくり事業	① 区内一斉清掃活動事業 ② ゴミ分別・集積所等管理事業 ③ 区会だより発行事業 ④ あいさつ運動推進事業 ⑤ 区内企業との交流促進事業 ⑥ 町主催事業への参加事業

(2) 分野別の地域計画

(1) 安全安心な地域づくり

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. 自主防災訓練事業	高齢者世帯の増加や住宅団地の密集度が高く急傾斜地2箇所、松ヶ越地区以外の地区は河川の想定浸水深3～5m未満と町の防災マップに示されている。災害時には、素早い避難行動が不可欠である。平時から防災意識を高め災害に備えて置く必要がある。そのための自主防災訓練を定期的実施する。	区	長期	H23～継続	
2. 交通・防犯対策事業	町の出前講座の活用・警察等の関係機関と協力を得、啓発を徹底する。自転車安全運転教室、防犯教室の開催通学路の安全施設及び危険箇所等の点検確認を行い町・学校との情報共有を行う。	区・団体	長期	R5～継続	
3. 地区消防団活動支援事業	円滑な消防活動を行うために団員支援と後継者対策支援を行い地区の安全安心を図ると共に消防活動の充実を図る。	協働	長期	R5～継続	
4. 防犯灯新設設置事業	松ヶ越地区の幹線道路のLED電灯に整備されているが、幹線道路以外の道路にある設置間隔が長く防犯灯の効果が確保できていない。夜間の安全通行照明を確保のため順次設置するものである。また、他地区に於いても安全通行照明が確保できない場合も併せて設置する。	区	長期	H25～継続	
5. 洪水等対策事業	地域内の生活道路が冠水等による地区の孤立化が心配だ特に医療ケアの方々や高齢者世帯の安全確保が最重要だ県道52号線へのアクセス道路整備が急務である。当地域内を他の道路も冠水路線が多い。既存の道水路の機能では対応が困難な状況となっている。	町		要望	

(2) 健康で魅力のある地域づくり

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. 生き生きネットワーク事業	地区で活動している団体同士の情報提供と情報交換の場を設け区内の地域づくり活性化と担い手づくりを行う。活動団体に愛好会参加を促し充実を図る。	区・団体	短期	R5	
2. 伝言板設置・会報周知事業	萱ヶ崎班地内に伝言板を新たに設置し区内の行事や活動団体予定など広報周知を行い各種行事への参加呼びかけを既存掲示板をと共に活用を図り情報の一元化を図る。	区	短期	R5	
3. 集会所利用促進事業	集会所の開放日を活用し、井戸端会議・麻雀・お茶会卓球・絵手紙勉強会など多様な利用を通しコミュニケーション向上と区民の活動範囲拡大を図り活性化に繋げる。	区・団体	短期	R6	
4. い～とこめぐり散策事業	健康づくりと区内外の名所や風景を楽しむ事業を行う。活動が区民に定着後、活動団体に移行し継承する。	区	短期	R5	
5. ふれあいサロン拠点事業	人と人の結びつきを大切にしながら仲間づくりを目的に活用する。	区	短期	H25～R6	

6. 料理教室開催事業	柴田町食生活改善促進委員会や地区民生委員と連携して食生活の改善事業と年越しそば作りを楽しむ事業。地区の高齢化が進行している中、食生活改善は健康維持が大切。健康啓発を兼ねた教室開催を進める。	区	長期	R5	
7. 敬老会事業	町委託事業を活用し、区内の敬老会を実施する。	区		継続	柴田町
8. 宝寿会活動助成事業	町社会福祉協議会活動事業の憩いの日に呼応した事業を地域で行う活動団体を助成する。	活動団体		H23 ～ 継続	宝寿会
9. スポーツ・リレーション大会	区民との親睦・交流を促進するイベントを実施する。併せて春・秋の年2回開催(種目限定)が可能か検討。	区	短期	H1 ～ 継続	
10. ふるさと夏祭り参加事業	ふるさとの祭りを関係団体が中心となり開催。区の助成事業である区民参加を呼び掛けていく。	活動団体	短期	継続	三ヶ屋敷親和会
11. 凧作り・凧揚げ助成事業	正月の風物詩である親子で凧を作り・凧揚げを楽しむ行事を区の助成事業。	活動団体	短期	H1 ～ 継続	育成会

(3) 次世代を育む地域づくり

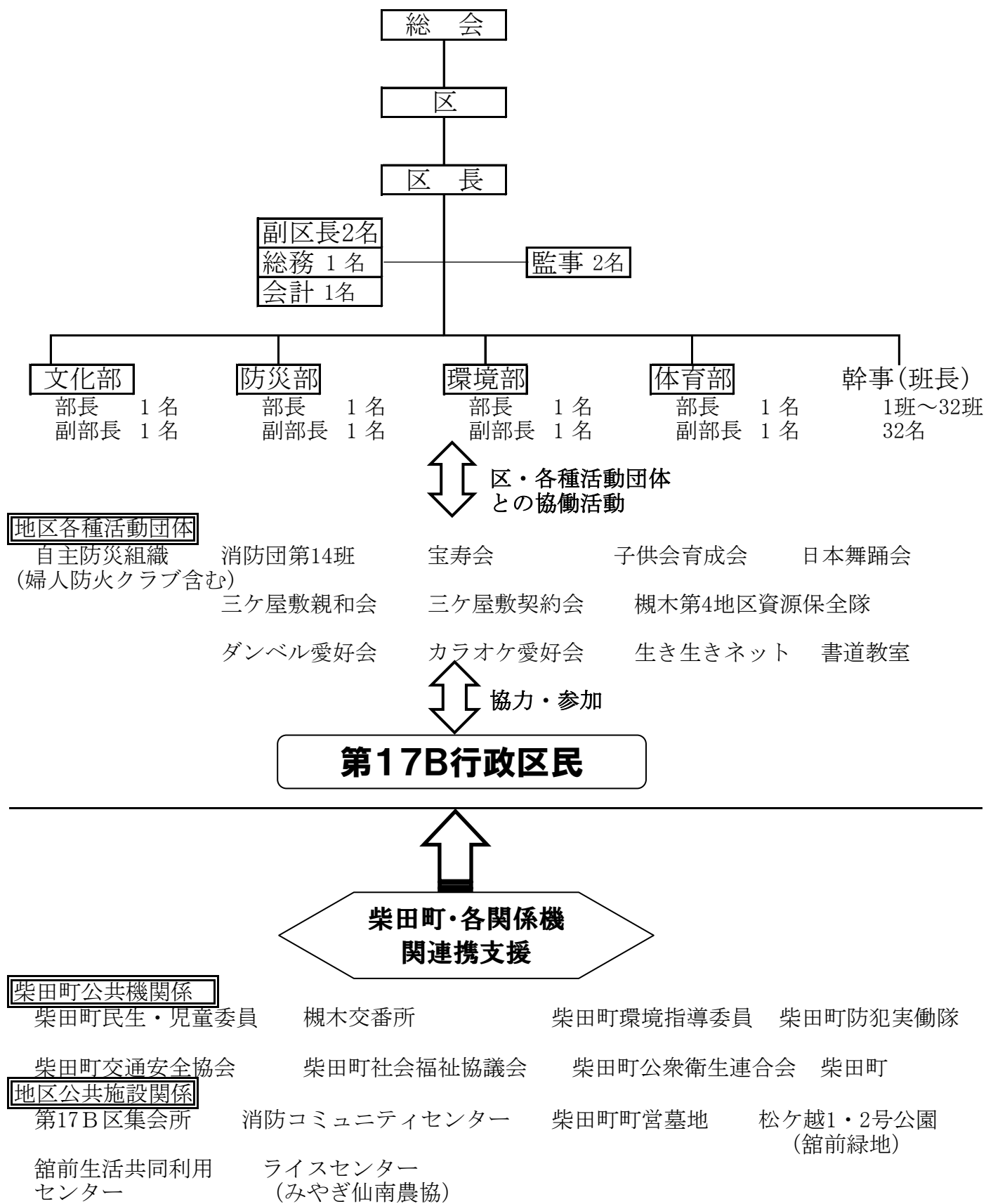
事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. 区内一斉清掃活動事業	道路愛護週間時期に、区内一斉清掃を行う。 8月第一週の日曜日に毎年実施する。	区	長期	継続	
2. ゴミ分別・集積所等管理事業	ゴミの適正分別が何時も課題となっている。町の出前講座等を活用した研修会を開催し、解消に向けた取組みを進める。また、集積所のスチール化を進める。	区	長期	R5	
3. 区会だより発行事業	区民に情報提供を行う仕組みとして、区会だよりの発行に取り組む。発行時期 4月 7月 10月 12月の発行とする。但し、緊急情報提供の場合、臨時号発行で対応	区	長期	R5	
4. あいさつ運動推進事業	コミュニケーションを図るには「あいさつ」は欠かせない。防災・防犯・高齢者等の見守りなど「あいさつ」を通じた声掛け運動を推進する。	区	長期	R5	
5. 区内企業との交流促進事業	区内にある企業と連携した活動が地域活性化を図る事が大切である。特に防災対策の観点を考慮しながら交流促進を進める。	区	長期	R5	
6. 町主催事業への参加事業	町が進める各種事業に参加し他地域への交流を図る。また、槻木地区地域づくり推進協議会への参加を行い行政区間の交流を促進する。	区	長期	R5	

■ 事業取組み方と役割分担・実施スケジュール

- 計画書策定だけでは実現できません。
誰が（役割分担）、いつまでにやるか（実施スケジュール）を明らかにすることで
事業の具体化に取組みむと共に実施を進めてるものです。
- ◇ 誰がやるか（役割分担）については
 - ① 地域でできること
 - ② 地域と町が協働で行うこと
 - ③ 町が行うこと
- ◇ いつまでにやるべきか（実施スケジュール）
 - ① 短期的にすべきこと（2年間で実施）
 - ② 中期的にすべきこと（2年から5年で実施）
 - ③ 長期的にすべきこと（5年以降も実施）

Ⅶ. 地域計画推進体制

楽しく・仲良く・明るい・ふるさとづくり



第17B区地域計画

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール(年度)					協働団体等	備考
					5	6	7	8	9		
1-1	安全・安心	自主防災訓練事業	自主防災組織・区防災部	・「備えあれば憂いなし」を合言葉に継続的な訓練活動を行う。区内避難場所への避難ルート確認・運営のマニュアル作成、マイタイムライン活用の徹底を図る。	○	○	○	○	○	柴田町役場 警察 消防	
1-2	安全・安心	交通・防犯対策事業	活動団体	・パトロール活動における情報共有化。高齢者自転車運転教室・防犯教室を町出前講座や警察の指導を得ながら取り組む。	○	○	○	○	○	柴田町役場 警察 小学校	
1-3	安全・安心	地区消防団活動支援事業	区防災部	・円滑な消防活動を行うために団員支援と後継車対策支援を行い地区消防活動の充実を図る。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
1-4	安全・安心	防犯灯新設設置事業	区	・不特定多数の歩行者の安全照明確保を適宜新設設置を行う。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
1-5	安全・安心	洪水等対策事業	区	・生活道路の冠水防止と改善を町に要望(何時も冠水道路は同じ路線である) ・県道52号と町道富沢16号線交差点に信号機設置要望 ・松ヶ越住宅団地周辺法面の雑木が繁茂状態である伐採等の要望							

「項番」は分野-事業名で番号付けします。

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール(年度)					協働団体等	備考
					5	6	7	8	9		
2-1	健康で魅力	生き生きネットワーク事業	区文化部・活動団体	・区内で活動している団体同士の情報提供や交換の場を設け地域づくり活性化と担い手づくりを行う。	○	○	○	○	○		
2-2	健康で魅力	伝言板設置・区会報周知事業	区文化部	・区内エリアが広く32班編成での情報伝達である。届き難い萱ヶ崎班に伝言板を新設設置し区行事等の周知徹底を図る。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
2-3	健康で魅力	集会所利用促進事業	区・区民	・区民同士のコミュニケーション向上と集会所の利活用促進を図るもの。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
2-4	健康で魅力	い〜とこめぐり散策事業	区文化部	・区内の歴史文化や自然景観触れながら参加者の交流を図り地域の活性化と健康づくりを行うもの。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
2-5	健康で魅力	ふれあいサロン拠点事業	区文化部	・人と人の結びつき仲間づくりの場として利活用するもの。館前共同利用センター。	○					柴田町役場	
2-6	健康で魅力	料理教室開催事業	区文化部	・高齢化が進行している。食生活改善と健康づくりを行う。	○	○	○	○	○	参加区民	
2-7	健康で魅力	敬老会事業	区	・町の委託事業を活用し長寿祝を76歳以上の方々を対象に行う。	○	○	○	○	○	活動団体	
2-8	健康で魅力	宝寿会事業	活動団体	・社会福祉協議会の「憩いの日」事業を活用し高齢者の集いを開催するもの。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
2-9	健康で魅力	スポーツ・リクリエーション大会	区・体育部	・区民同士の親睦と交流を目的にイベントを開催するもの。	○	○	○	○	○	地区消防団	
2-10	健康で魅力	ふるさと夏祭り参加事業	活動団体	・区内活動団体を中心に8月に開催。	○	○	○	○	○	参加区民	
2-11	健康で魅力	凧作り・凧揚げ助成事業	地区子ども育成会	・地区子ども育成会が開催。親子の絆と親子同士の親睦を図る。毎年1月開催 冬の風物詩。	○	○	○	○	○	参加区民	

「項番」は分野-事業名で番号付けします。

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール（年度）					協働団体等	備考
					5	6	7	8	9		
3-1	次世代を育む	区内一斉清掃活動事業	区環境部・区民	・毎年、8月の「道の日」に合わせた道路清掃活動を区民総動員で実施。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
3-2	次世代を育む	ゴミ分別・集積所等管理事業	区環境部	・住環境の一環としてゴミの適正分別と集積所整理整頓を町出前講座を活用しながら浸透を深める。また、木造集積所のスチール化促進も併せて進める。	○	○	○	○	○	柴田町役場	
3-3	次世代を育む	区会だより発行事業	区文化部	・区行事開催日程を始め防犯・交通などの情報を広く周知する取組み。	○	○	○	○	○	区民	
3-4	次世代を育む	あいさつ運動推進事業	区文化部・活動団体	・コミュニケーションとの道具として「あいさつ運動」の展開を図るもの。	○	○	○	○	○	区民	
3-5	次世代を育む	区内企業との交流促進事業	区	・区内企業との交流を通し地域の活性化と地区防災対策に繋ぐ活動を行うもの。	○	○	○	○	○		
3-6	次世代を育む	町主催事業への参加事業	区民	・町行事に参加し他行政区との交流を図るもの。槻木地区地域づく推進協議会での活動推進を図る。	○	○	○	○	○		

「項番」は分野-事業名で番号付けします。

第17B区地域計画

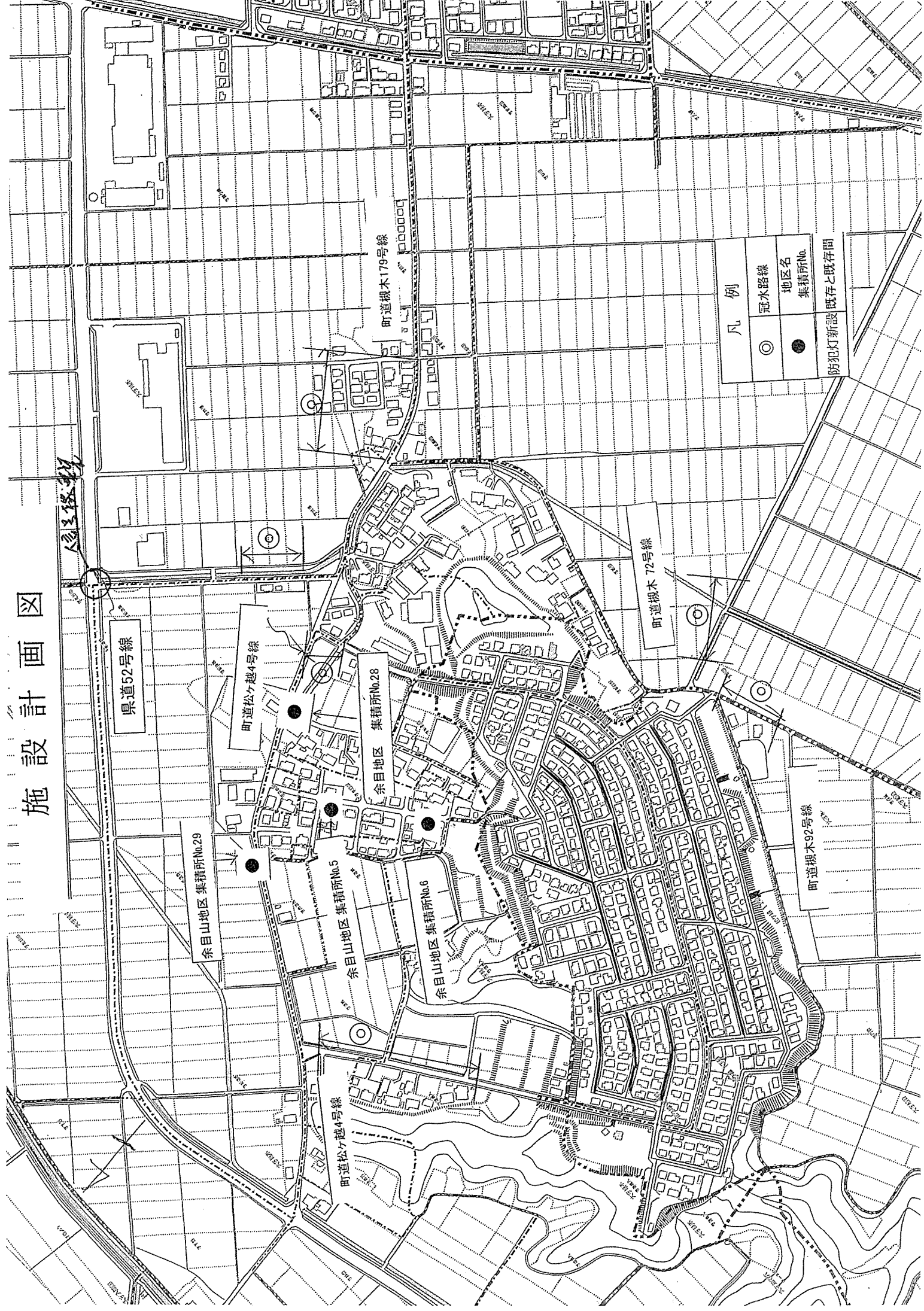
事業費内訳

項番	分野	事業名	事業費(千円)					費用負担			主な費用/備考	
			計	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	町	交付金		地域
2-1	健康で魅力	生き生きネットワーク事業	50	10	10	10	10	10			○	活動経費
2-2	健康で魅力	伝言板設置・区会報周知事業	110	110						○	○	伝言板設置経費(土地使用許可等が必要な場合町支援)
2-3	健康で魅力	集会所利用促進事業	85	5	20	20	20	20			○	活動経費
2-4	健康で魅力	い〜とこめぐり散策事業	75	15	15	15	15	15		○	○	活動経費
2-5	健康で魅力	ふれあいサロン拠点事業	50	50							○	活動経費
2-6	健康で魅力	料理教室開催事業	150	30	30	30	30	30			○	活動経費
2-7	健康で魅力	敬老会事業	2,335	467	467	467	467	467		○	○	活動経費
2-8	健康で魅力	宝寿会事業	200	40	40	40	40	40			○	活動経費助成
2-9	健康で魅力	スポーツ・リクリエーション大会	800	160	160	160	160	160		○	○	活動経費
2-10	健康で魅力	ふるさと夏祭り参加事業	400	80	80	80	80	80			○	参加活動経費
2-11	健康で魅力	凧作り・凧揚げ助成事業	75	15	15	15	15	15			○	活動経費助成
		計	4,330	982	837	837	837	837				

「活動計画」毎に事業費を記述します。
 項番・分野・事業名は「活動計画」と同じく記述すること。
 地域で負担する事業で、交付金を充てる事業については交付金のところに○をつけること。

項番	図面 番号	事業種別	優先 順位	路線名・箇所名等	目的と計画内容	規模等	事業実施スケジュール（年度）					備考
							5	6	7	8	9	
1	①	洪水対策	1	槻木遠島、舘前、焼 檀、松ヶ越地区ほか	・生活道路冠水対策	冠水による通行不良防止と県道52 号線への道路整備						→町へ要望
2	②	防犯灯新設施設	2	松ヶ越地区ほか	・団地幹線道路から入った路線の防犯灯間隔が長い 照明が届かない路線を中心に整備。	概ね20灯新設設置予定	○	○	○	○	○	灯具は町支給
3	③	交通安全施設新設	3	舘前・松ヶ越地区	・カーブミラー老朽化(反射鏡)、反射角度調整 ・止まれ標識設置	施設の老朽化						→町へ要望
4	④	木製ゴミ集積所のスチール 化	4	余目、餘目山、焼檀 地区	・老朽化している木造集積所のスチール化。鳥類対策、 環境美化対策。	既存木製集積所5カ所予定	○	○	○	○	○	事前調査を行いながら 進める。
5	⑤	県道52号線と富沢16号線の 交差点信号機設置	重要		・富沢16号線が供用開始に伴い県道52号線に乗り入れが 頻繁になる交通事故が心配される信号機の設置が必要 だ。	県道52号線に信号機設置						→町へ要望經由公安委 員会

施設計画図



凡例	
◎	冠水路線
●	地区名集積所No.
○	防犯灯新設
○	既存